



FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB

藤枝南ロータリークラブ会報

例 会： 毎週金曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321
 事務局： 藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
 E-mail: club1991@fujieda-rotary.org

会長：内山 淑夫 副会長：山田 壽久 幹事：竹田 敏和 副幹事：渡邊 博文

第1176回



<http://www.fujieda-rotary.org>

お花見例会/瀬戸川桜まつり会場

■ 会長報告

内山 淑夫君

今日はお花見例会と言うことで、親睦の方々本当にありがとうございます。テーブルいすから、おでんに焼き鳥とくればお酒すすみます。花冷えではありますが、大いに楽しませていただきます。昔から花といえば桜を意味します。不思議ですね、特別鮮やかな色でもないし、大きな輪郭でもないし。でも何だか咲くずっと前から、今年は早そうとか、やれ枝が遠目にもピンクになってきたとか、今週あたりだとか、妙にソワソワします。散れば散ったで、葉桜の明るい緑を楽しむ。この散り際が好かれる理由でしょうか。梅の花はもっと色濃く長く保ちますが、どうも桜ほど人気が無いのです。

日本文学者のドナルドキーン先生がお花をみたくてボストンかどこかの堤に言ったところ満開で、ジュッギングの人たちがひたすら前を見て走りすぎていくのを呆然と眺め、花を愛でる気持ちもないというのは民族の差なのか、と落胆する場面がありました。また、先生がしっとりお花をみたいと思って花のもとに行ってみれば、多くの人々が大騒ぎしてお酒を飲んでうるさいたらありゃしないと憤慨していたのに、しかしよくよく考えてみれば、これが昔からの大衆のスタイルでもあったわけで、つまりは、いろいろな形で花のもとに人は集うわけでありませう。

私も桜の大ファンで自宅には3本の桜を植えました。今では巨木となりました。ライトアップされた夜桜をみますと夢幻の思いです。人の一生なんて短くはないものです。生を駆け抜けるのが人生でしょうか。だからこそ 定めなきこそ、いみじけれ (はかないことこそ、すばらしいこと) です。

私のこの世で一番好きな歌を記して筆を置きたいと思います。

願わくば花の下にて春死なんぞ
の如月の望月の頃

■ 出席報告

平原 望君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
30/47 63.82%	44/47 93.61%

(1)欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 池ヶ谷君 ○伊藤彰君 ○伊藤恒君 ○桑原君
- 小林君 ○杉浦君 ○鈴木照君 ○多々良君
- 玉木君 ○樽井君 ○松浦君 ○望月君
- 森竹君 ○藪崎茂君 ○若林君 ○山田君
- 渡邊博君

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
4/8(金) 第 1177 回	会員卓話	理事会
4/15(金) 第 1178 回	地区協報告	
4/22(金) 第 1179 回	健康セミナー②	
5/6(金) 第 1180回	外部卓話	

●●お花見例会●●



